

鹿児島県立 鹿児島聾学校

No.1

鹿児島聾学校は、明治36年の開校(鹿児島市山之口町)以来、県内唯一の聾学校として、長年現在地(鹿児島市草牟田)で聴覚障害教育の中心的な役割を担ってきました。

現在、旧鹿児島盲学校跡地(鹿児島市下伊敷)への、平成27年度移転開校に向けて整備を進めています。



正面のイメージ

敷地面積:約19,000㎡
建築面積:5,109.91㎡
延床面積:9,957.00㎡
構造:鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
工事期間:平成25年9月~平成26年12月(予定)



鹿児島聾学校の整備の方針

- ①幼稚部、小学部、中学部、高等部、専攻科を設置し、0歳児からの保育相談や幼稚園における早期教育、児童・生徒の聴力測定や補聴器の選択・調整など「きこへの相談」等を実施し、聴覚障害教育のセンター的機能を発揮できるように整備します。
- ②通学が困難な幼児・児童・生徒のために寄宿舎を整備します。

設計のポイント

- ①聴覚障害者への配慮(安全面)
 - ・来客者や職員などの駐車場を出入口周辺でまとめるなど、敷地内で歩車分離を行い、安全面に配慮しています。
 - ・わかりやすい配置、見通せる空間にするなど、空間の可視化を図り、安全面に配慮しています。
- ②早期療育への配慮
 - ・乳幼児相談や乳幼児検査のための諸室を設置しています。
 - ・モデルルームによる日常的聴覚訓練室、広めの中庭や屋内プレイルームなどを設置しています。
- ③周辺住宅への配慮
 - ・3階までの建物とし、住宅側をセットバックするなど、近隣の日照確保に配慮しています。
 - ・2・3階の渡り廊下を開放型として、近隣の通風確保に配慮しています。
 - ・音の発生する諸室を住宅側から遠い位置に配置したり、住宅側の窓面を少なくするなど、配慮を行っています。



イメージパース